

癒しのオアシス「鯉のぼり」プロジェクトにご支援・ご協力いただいた皆様

この度は、癒しのオアシス「鯉のぼり」を届けよう！プロジェクト多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度のプロジェクトで、宮崎県の半九レインボークラブの澤山貴義様を通じて、福島県田村郡三春町に身を移されて仮設住宅に住まわれている双葉郡葛尾村の方に皆様の大切な鯉のぼりをお届け頂きました。

葛尾村の方は今後の生活設計が見えず、ストレスは溜まる一方、やる気も失っている住民に「鯉のぼり」効果は大きく、今まで仮設住宅の中に入りっぱなしだった方が、自ら鯉のぼりの設置を手伝いました。

このことが「自ら何かをする」ということが、きっかけづくりになったようです。それも皆様のご支援・ご協力があったからこそと痛感しております。

曇り空でしたが、鯉のぼりが仮設住宅の前にあがったときにそこに住まわれている方が言いました、

「おなかいっぱいゴツォ（ごちそう）より、これが心のごちそうだよ！」

「いつときでも心が和めばいいんだよ！」

震災後、原発問題が大きく、今だ、見通しが立っていないところは福島県内にたくさんあります。不安は増す一方と、多くの悪循環が私たちを包んでいます。そのような中だからこそ、それぞれが、それぞれの場所で、それぞれにできることを行っていく。そういった取り組みにより生まれる小さな好循環が福島県内を埋め尽くすことができれば、それは復興に向けた大きなうねりとなっていくことを願わずにはられません。

震災により多くのものを失いました。しかし、失ったことから多くを学び、私たちは生きていかなければならないと思います。

そして、何よりも皆様に家庭で思い出のある大切な「鯉のぼり」と支援の「こころ」を送って頂いたことが貴重な財産です。

簡単には福島県は復興しませんが、これからも様々なかたちで福島県を応援して頂ければ幸いです。

鯉のぼりでつながった「繋がり」と暖かい「こころ」に感謝し、ほんとうにありがとうございました。

福島県福島市在住 半澤由美子